

活動結果報告書

28年5月26日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 片粕 正二郎



下記のとおり報告します。

日 程 28年5月25日(水曜日)～ 月 日(曜日)

活動先 会派「未来」会報

活動目的 会派の取り組みを市民に伝える

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

印刷業者 有限会社清水印刷

支払金額 28,882円(印刷代)

11,839円(新聞折り込み代)

配布先 市内各所

配布部数 25,200部

別添の通り

越前市議会

会派『未来』主催 市民と語る会開催

『新庁舎に期待する！』

皆さんは、現在地に新しく建設される新庁舎の建物に
どんなことを望んでいますか？

○まちなかの活性化につながる新庁舎。

○シンボルになるような新庁舎。

高いビル、低層の建物、鉄筋、木造などなど、

皆さんは、どう考えられますか？



今年初め、公用車駐車場として現在建設中の第3庁舎跡地の発掘現場で、紫式部が住んでいた平安時代の国府に関すると思われる建築物の大きな柱跡や、戦国～江戸時代の前田利家や本多富正に関係すると思われる遺物や文化遺跡が出てきました。

これらの国府や府中城跡地は、まさに！「古代からのメッセージ」であると私たちは考えます。

新庁舎は、これらの歴史をしっかりと活かし『さすがに国府に相応しい！』と、歴史と伝統にマッチした「越前市らしい建物」を目指したいものです。

と き

5月30日(月) 午後7時30分～9時

ところ

武生商工会議所 3階 会議室

内容

〈第一部〉ミニ講演・真柄甚松氏(郷土史家・市史編さん委員)

〈第二部〉皆さんとの意見交換会

私たちの新庁舎建築に対する提案

今回の発掘結果を受け、本来ならば、公用車の駐車場建設を見直し、建設場所の再検討に入るべきである。

しかし、すでに、工事発注済みであり、新庁舎建設に向けた基本設計に取り組んでいる現状を踏まえ、これまでの発掘結果を古代からのメッセージとして受け止め、今後の新庁舎建設について、次の点を提案する。

- ①発掘された『のずら積み』の石垣を復活し、それにふさわしい修景を造成すること。
- ②国府の歴史に相応しく、府中城風で、木造をふんだんに使った低層の建物とすること。
- ③身の丈に合ったコンパクトな建物にすること。
- ④役所機能について、アルプラザ4階やセンチュリープラザ2階のフロアーを積極的に利活用すること。
- ⑤新しくなる本庁舎への来場増加を踏まえ、駐車場を計画である120台(現在の台数)から増やすこと。
- ⑥市民利用機能フロアーや設備の運営については、市民団体との連携を積極的に図ること。

『会派:未来』議員の「3月議会を終えて！」

福田 往世



越前市は、将来の地域づくりを位置づける重大な時期を迎えております。

新庁舎、今立総合支所、体育館建設、中央公園再整備、中心市街地活性化、新幹線南越駅周辺整備など、大型プロジェクトに取り組んでおります。

多額の投資によるまちづくりの未来は、果たして、栄えある越前市となるか？市民の皆さんと、しっかり考えていきたいと思っております。

片粕正二郎



北陸新幹線・新庁舎建設対策特別委員会 委員長報告(抜粋)

新庁舎建設について、委員から、3月末から開催の基本設計・市民ワークショップについて、大人と中高生のグループに分けた質問に対して、福祉や防災など各分野の方、庁舎利用の団体、将来に向け、中高生も参加のワークショップを行うとの市の答弁。

今立総合支所改築・市商工会位置づけについての質問に対し、商工会でも議論され、規模、予算等市とお互いに合理性を持った一番よい方法を協議し基本計画に反映したいとの市の答弁。

伊藤 康司



現在、市では、体育館建設、中央公園再整備、新庁舎建設と大規模なプロジェクトが進められています。

特に、現在基本設計が進められている新庁舎については、熊本地震の報道を見ていると、木造住宅が倒壊し、通学路をふさぎ、子供たちが迂回して通学する現状でした。

木造住宅が密集している現在地での建設が、本当に市の防災に対する危機本部となる本庁舎として良いものか？災害時の市民対応を思うとき、今一度再考することが必要でないのかと考えます。

中西 眞三



越前市のまちづくりや人づくりで、今後の目指す視点を考えると、疑問の多い議会でした。議員生活18年の中で、大きな危機意識を持ちました。

市政運営の最大目的は、『市民の最大幸福』です。それは、安心・安全、快適な暮らしの実現であると考えています。

そのため、市民から選ばれた市長が市政を運営し、議会がしっかりチェックする。

しかし、その機能が十分果たされないまま、提出議案が可決されていく今議会の現実を見て、大きな懸念を抱きました。

西野与五郎



医療費の増大による国民健康保険特別会計の繰り出し金が増え、市の一般会計の歳出増の要因となっています。今後も高齢化や医療の高度化により、医療費の増大が続くことから、市民総参加による健康づくりや介護予防の取り組みが求められます。

毎年、約4千人のランナーがエントリーする菊花マラソンが、今年35回大会を記念し、新(村国山)コースを設けて開催されます。このコースは、市民のシンボルである村国山を走るもの。安全対策には十分な配慮を要望しました。

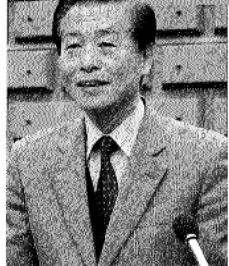
小形 善信



総務委員会に審議委託された案件のうち、旧第3庁舎跡地の公用車駐車場建設において、平安時代から戦国時代、江戸時代に由来される遺跡発掘の件について、市は、前議会にて承認済みと、事業着手優先の判断を主張しました。

総務委員長として、審議が必要と判断し、現場にて文化財調査員説明の所管事務調査会を開催して、全議員で現状を共有したいと思いましたが、過半の参加になり残念です。今後は、教育委員会の将来に向けた遺跡活用の判断を期待します。

佐々木哲夫



3月議会は、当初予算として、大型建設事業の関連予算、国保や介護など市民福祉関係の費用も含め、最大予算が可決されました。学校の耐震化工事が終わり、今後は、市民利用による公民館などの公共施設の雨漏りや老朽化対策を含めた耐震化工事が待ったなしです。

1年延期で4月から約10%値上げの国保会計は、昨年度、補正に加え、年度末には専決による追加支出もなされました。今後の運営は厳しく、しっかりとした対応が迫られます。

私たちは、ビックプロジェクトが続く今、このまちの未来について考えたいと思っております。

あとがき

3月議会で議論となった公用車駐車場建設に引き続き、計画の中の新庁舎建設については、昨年、基本構想・基本計画が策定され、現在、基本設計が進められています。

まちなかの活性化やシンボルとなる新庁舎には、越前市の歴史と文化をしっかりと踏まえ、市民に愛される建物を望みたいものです。

私たち、会派『未来』は、現在、本市にとって大切な課題である『新庁舎』について、市民と語る会を開催するなど、市民の皆さんの声を市政にしっかり反映していきたいと考えています。

ご支援ご協力を、心からお願いいたします。